

「コアマークにも
段差があるんで
あるんでね」
「コアマークは
脚の不自由な方が
多いんでしょ？」
「うしろで結構な人が
多いんでしょ？」

これは日本人フリースタ
ここに暮らした日本人か
らよく受ける問答です。そ
れは昔中でお話の主人を、
車椅子の方を見かけます。
私自改、コデンマークに
暮らして四年余り、デンマ
クには海和立国、暮らそう
困らわれませんが、だからと
いってうい人々人口目
体は、他国比べて低いに
多いとは思えません。これが
バリアフリーの進歩国同
まり整えがなない国、福祉
国家デンマークなのか、と思
わされます。

高輪者が仲間を募って自分
たちだけのコハウジンを
作ったのも、大きな集住宅
の一部に高輪者が集ま住
れた建築だ、とさまざまな
タイプの住宅が在ります。こ
れは、誰もが住む住たい、
と思つた生活形態を追求し、周
りがそれを認め、このこと認
めていることにもなります。た
どどんな形が好むても、一つ大
事な共通があります。街の
中心にある、あるいは街にア
クセスしやすい所に建つて
るといふことです。狭くて十
分の間に銀行、郵便局、店
舗など生活に必要なものが
揃つています。仕事からは引
退しても、社会からは隠居し
ません。出来限り自分でや
るためには必要のものも近く
になくてもなりません。友
人・家族を会いたい、映画や
美術館の展示を見たいとなれ
ば、交通手段が整つていなけ
ればなりません。

特別に高輪者住宅として作
られたわけではないのです
先の一六八七年東郷鐵兵衛、女

世界の街角から



「植栽、段差などがあ
るといふので、段差
がなくなったのは
障がい者に対する
配慮がなされてい
るのでは？」
「コアマークは
障がい者の方が
多いんでしょ？」

「植栽、段差などがあ
るといふので、段差
がなくなったのは
障がい者に対する
配慮がなされてい
るのでは？」

**自分の権利を
主張し
他人の権利を
認める**

デンマーク文化の背景の一
つに、いわゆる一九六八年、
フライングドッグ、ヒッ
ピー文化がありました。どら
かと思はれませんが、この
一時期から、助け合いとい
ふ生きたけいけんが、人々が、
この時期を親子世代、大人も
平等、男女平等、先生と生徒
も平等など、一気人々の根
根を取り払ってしましました。
その中では、老人が平等希
者などの社会的弱者の平等
権利も当然要求されます。そ
れは、社会的弱者も、そして



「コアマークは
障がい者の方が
多いんでしょ？」
「コアマークは
障がい者の方が
多いんでしょ？」

また杖も杖でも椅子を押し
両も杖も杖も一網、外に出
た時には杖を認め、行きた
い時には行く、したいことす
る。その考え、その考え、一
番の基にあり、それを支える
まさに杖のハンドレでパー
ソナルフリー、ノーマライゼー
ションがあるのです。
自分自身が弱者の立場立
たれるのをとまめます。
自分の権利を主張することは
他人の権利を認めること、み
んなしつかり自分の権利主
張し、そしてそれを守ろうと
いう姿勢が、国・市町村み
られます。せつがえられ
たバブルで、日本人が障
がい者、と恥かかいて
利用しないことがありますが、
ここにはみな平等、みな人
気味に利用しています。

では、高齢者住宅の場合は
どうでしょう。

デンマーク高齢者カモイ建築家、車中
鎌田貴子



「コアマークは
障がい者の方が
多いんでしょ？」
「コアマークは
障がい者の方が
多いんでしょ？」

性が社会に出やすいように建
物内レストランやキオスク
が併設されている住宅もあり
ます。これは身の回りこと
をとりかたおき寄りに
も備わります。障りで行
けば、必要な物も買えますし
レストランで人と簡単に食
事もできます。

他に、アパテイメンテー
ンターやデイケアセンター
が併設されている建物もあり
ます。この施設、自分利用
できますが、逆に街から人が
やってくることもあり、ここ
でも主人々、社会のつなが
りが生まれます。



「コアマークは
障がい者の方が
多いんでしょ？」
「コアマークは
障がい者の方が
多いんでしょ？」

最近、さまざまな年齢層の
人が住み集まる住宅の一部が、
高輪者住宅をつつているタイ
プを見かけます。もちろ
ん、こういふ地質、高輪者は
駐車場から最もアクセスしや

すいとか、エレベーターが備
えられている。が、家に帰る
何なりお仕事を、家にも
外を見た時に、手帳なら走
り回り、車も乗っているのが
見え、自分も歌つたよう、
外に出てくるといふ感じが
せんとく、と建築家は指摘
します。

このように配膳もと違
てられた住宅、外に出て行
く、アクティブに暮らすこ
うな生活寄りを支える人々と
併、これは誰もが目をし
かめ、そして誰もが他人
を助けるからこそのこと
です。バリアフリーは段
差を取り除くことだけでは成
立しません。人々の心のバ
リアを取り除く、そして
そのためには、人として社会
から取り除くこと、そうす
せぬように、ハード面で
バリアフリーすること。この
ソフトもハードもめたバ
リアフリーこそ真のバリア
フリーではないでしょうか。